

平成 30 年度

「『授業改善』のための調査」報告書

東北女子大学 FD 委員会

[R2.2.]

目次

1. 実施方法	4
(1) 実施期間.....	4
(2) 実施・回収方法.....	4
(3) 実施科目	4
(4) 調査項目	4
(5) 集計方法.....	4
(6) 回答率	4
(7) 結果の公表方法.....	4
2. 結果.....	5
(1) 年度別×学科別の14項目の平均値.....	5
(a) 学科別の検討.....	5
(b) 両学科の共通点	6
(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科	6
(3) 学年、学科別の平均値—児童学科.....	7
3. まとめ：今後の課題.....	8
4. 付録.....	8

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 WiFi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

(付録「授業改善」のための調査用紙 参照)

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1~8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「授業についての評価 (項目番号 1~8)」を「教員の授業評価 (Q1~Q8)」、「学生自身の授業の取り組み方についての評価 (項目番号 9~13)」を「学生の自己評価(Q9~Q13)」と述べる。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。今回は、「健康栄養・家政学科」、「児童学科」に分類し集計した。なお、健康栄養学科は 1, 2, 3, 4 年次、家政学科 4 年次 (1 名)、児童学科は 1, 2, 3, 4 年次の集計である。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、平成 30 年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 84%、後期は 71%であった。(表 1)。

表 1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
平成 30 年度前期	149	3952	3299	83.50%
平成 30 年度後期	126	3104	2201	70.91%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表 (科目別)」参照) また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

2. 結果

(1) 年度別×学科別の14項目の平均値

以下は健康栄養学科、児童学科の各質問項目についての平均点を年度別に整理したものである。

	健康栄養学科(*)						児童学科					
	27年度		29年度		30年度		27年度		29年度		30年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 内容理解	4.1	4.4	4.0	4.1	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.3
2 興味関心	4.2	4.4	4.0	4.1	4.2	4.4	4.3	4.4	4.1	4.3	4.3	4.4
3 目的明確さ	4.4	4.6	4.2	4.3	4.3	4.5	4.4	4.5	4.2	4.3	4.4	4.5
4 教員熱意	4.4	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.5	4.5
5 話し方明瞭・速さ	4.2	4.6	4.0	4.1	4.2	4.4	4.2	4.2	4.1	4.5	4.2	4.3
6 学習内容量	4.2	4.4	4.0	4.1	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1	4.2	4.2	4.3
7 教材の工夫	4.1	4.5	4.0	4.1	4.2	4.4	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2	4.4
8 授業名と内容の一致	4.6	4.8	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.1	4.3	4.5	4.6
9 課題の取組み	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5
10 授業への質問	3.2	3.4	3.2	3.4	3.5	3.8	3.2	3.5	3.5	3.6	3.7	3.9
11 私語などしない	4.1	4.2	4.4	4.4	4.6	4.7	4.1	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5
12 シラバスのチェック	3.1	3.3	3.4	3.6	3.9	4.0	2.9	2.9	3.0	3.1	3.4	3.9
13 予習・復習	3.3	3.4	3.5	3.6	3.8	4.1	3.4	3.6	3.3	3.8	3.7	4.0
14 総合満足度	4.2	4.4	4.1	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4

*27年度は1年生、29年度、30年度は1-3年生を対象とした数値となっている。

(a) 学科別の検討

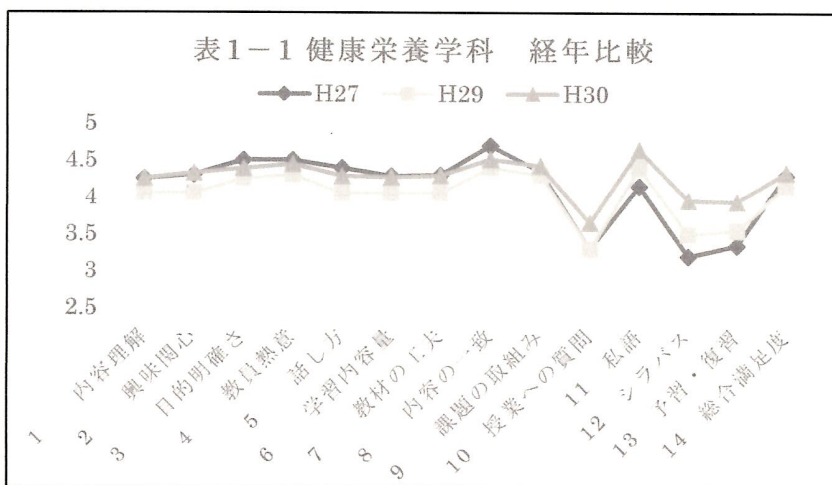


表1-1から、健康栄養学科の数値を年度ごとに比較すると、平成30年度の特徴として、学生によるシラバスのチェック、予習復習の項目で過去よりも高い数値が出されている。授業中の私語や課題への取り組みについても若干の改善が見られ、**学習についての学生の意識が高まっている様子が見える。**

これは特に H27 と H30 年を比較すると顕著である。この点は、管理栄養士国家試験が近づくにつれ、学生の自主的な学びを教員が積極的に促すようになった、授業の難度からも予習復習が必須となっていることが理由であると考えられる。シラバスのチェックについても、当該講義の内容や評価基準を自分で確かめながら学ぶ必要が高まるからであるとも推察される。もっとも、後述のように、シラバスの項目は他の項目と比べると低い数値であることには注意が必要である。

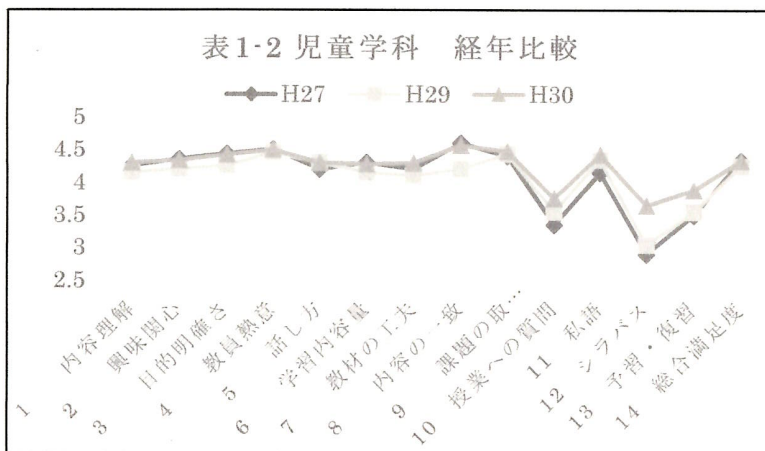


表1-2から、児童学科の数値を年度ごとに比較すると、健康栄養学科同様、シラバスや予習復習の項目で数値が高まっており、その意味では、学生の学修についての意識が若干高まっているとも捉えられる。

児童学科については健康栄養学科における国家試験のような特集要因はないものの、教員によるシラ

バスの積極的な活用などが理由として考えられる。

(b) 両学科の共通点

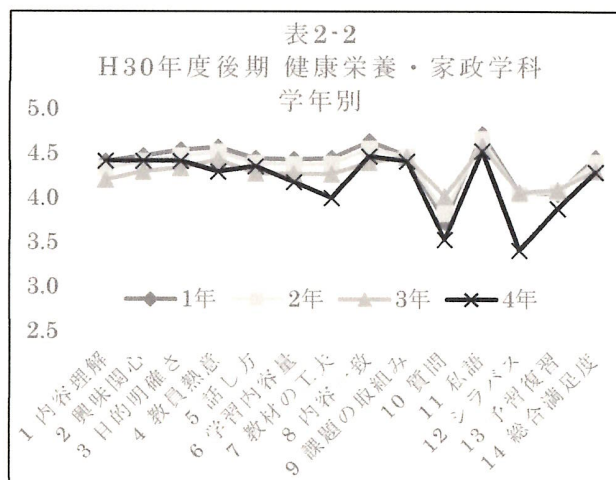
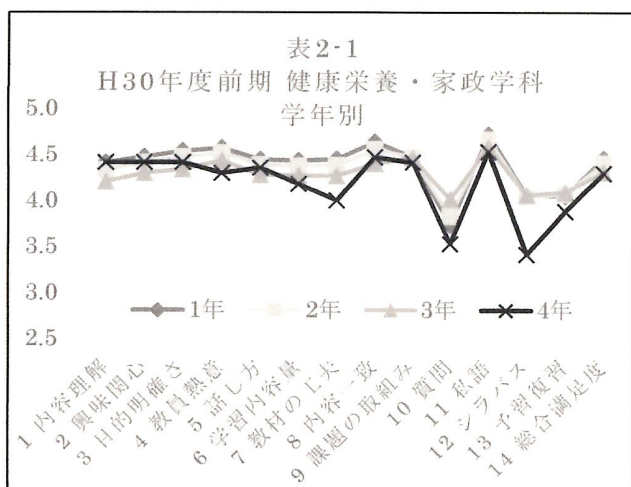
両学科の共通点として、程度の差はあるものの、授業への質問(10)とシラバスのチェック(12)、予習復習(13)の項目が、他の項目に比較して点数が低くなっていることが挙げられ、学生自身の受動的姿勢が見て取れるようにも思える。この点については後述する。

(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

【健康栄養・家政学科 学年別】

	30年度							
	前期				後期			
	健康栄養・家政				健康栄養・家政			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	4.1	4.1	4.4	4.5	4.4	4.3	4.2	4.4
2 興味関心	4.2	4.2	4.4	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4
3 目的明確さ	4.3	4.3	4.5	5.0	4.5	4.5	4.3	4.4
4 教員熱意	4.3	4.4	4.6	5.0	4.6	4.5	4.4	4.3
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.2	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4
6 学習内容量	4.1	4.1	4.4	5.0	4.4	4.4	4.3	4.2
7 教材の工夫	4.1	4.2	4.5	5.0	4.4	4.4	4.3	4.0
8 授業名と内容の一致	4.5	4.4	4.6	5.0	4.6	4.6	4.4	4.5
9 課題の取組み	4.3	4.3	4.6	5.0	4.5	4.5	4.5	4.4
10 授業への質問	3.2	3.4	4.0	4.0	3.7	3.8	4.0	3.5
11 私語などしない	4.7	4.5	4.7	5.0	4.7	4.7	4.6	4.5
12 シラバスのチェック	3.8	3.9	4.0	3.0	4.1	4.0	4.1	3.4
13 予習・復習	3.7	3.8	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	3.9
14 総合満足度	4.2	4.2	4.5	5.0	4.5	4.4	4.3	4.3



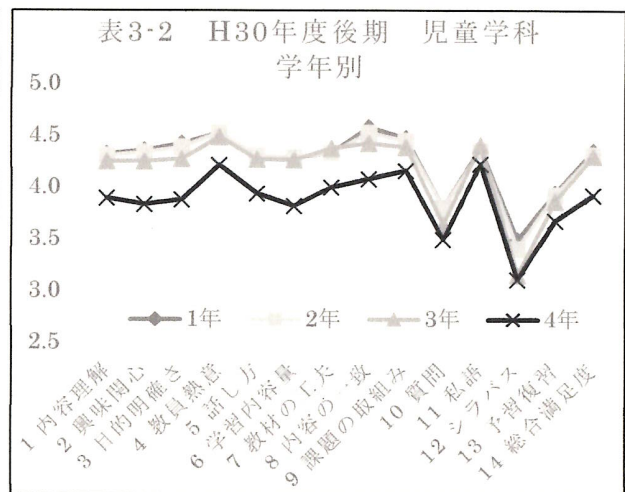
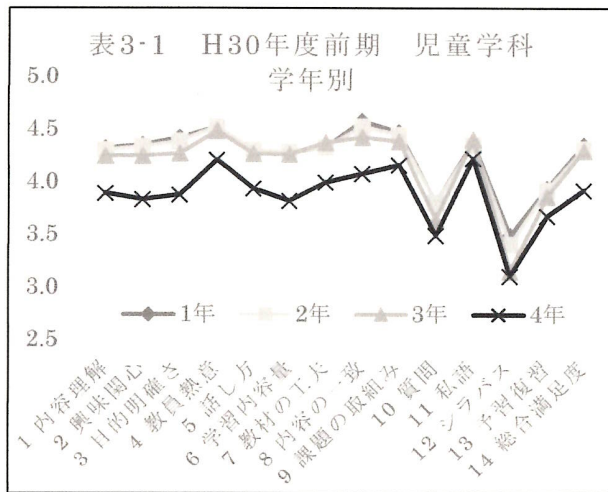
健康栄養学科の前期の科目については、表2-1から、授業についての理解度や教員の評価、学生自身の主体的な取り組みのすべてについて、学年が上がるにつれ、高い値が見られるが、後期の科目については、表2-2から、3年生では特に教員の授業評価に関する項目で点数が下がっていることがわかる。健康栄養学科の3年後期は講義の難度も上昇することが原因と考えられるが、これに加え、管理栄養士の試験勉強の本格化も何らかの影響を及ぼしているのかもしれない。

*健康栄養学科4年は講義がほとんどなく、平均値も特定の講義の評価とほぼ同じになるため、分析の対象からは除く。

(3) 学年、学科別の平均値—児童学科

【児童学科 学年別】

	30年度							
	前期				後期			
	児童				児童			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	4.4	4.2	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	3.9
2 興味関心	4.3	4.2	4.4	4.2	4.3	4.3	4.2	3.8
3 目的明確さ	4.5	4.3	4.5	4.2	4.4	4.4	4.3	3.9
4 教員熱意	4.6	4.4	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5	4.2
5 話し方	4.4	4.1	4.4	4.1	4.3	4.3	4.3	3.9
6 学習内容量	4.4	4.1	4.4	4.1	4.3	4.3	4.3	3.8
7 教材の工夫	4.3	4.1	4.4	4.2	4.3	4.3	4.4	4.0
8 授業名と内容の一致	4.7	4.4	4.6	4.3	4.6	4.5	4.4	4.1
9 課題の取組み	4.5	4.4	4.6	4.4	4.5	4.4	4.4	4.2
10 授業への質問	3.5	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.6	3.5
11 私語などしない	4.6	4.2	4.6	4.1	4.4	4.3	4.4	4.2
12 シラバスのチェック	3.6	3.5	3.3	3.2	3.5	3.4	3.1	3.1
13 予習・復習	3.6	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.7
14 総合満足度	4.4	4.2	4.4	4.1	4.3	4.3	4.3	3.9



児童学科に関しては、表3-1、3-2より、前期の授業は学年ごとの大きな差異は見受けられないが、4年後期の授業（教員）評価が低くなっている。その理由として、そもそも児童学科の4年後期は講義数が少なく、特定の授業の評価が全体の平均に大きな影響を及ぼすためであると考えられる。

3. まとめ：今後の課題

(1) 回答率の向上

平成30年度の回答率は、前期は84%、後期は71%であったが、**これは前年度（H29年度）よりも下がっている**（H29年度は前期85%、後期79%）。意図的に回答しない学生の割合が年度により大きく変わるとも考えにくく、教員による呼びかけが不十分だったとも考えられる。この点は今後の課題である。

(2) 学生の主体的な学びの促進

平成30年度に限らず、授業への質問、シラバスのチェック、予習復習の項目については、他の項目に比べて点数が低い。シラバスと予習復習については多少の改善がみられるものの、このことは**学生が受動的に学んでいる様子を表しているとも捉えられる。**

もっとも、シラバスのチェックについては、本学の場合、履修科目に選択の余地が少なく、履修科目の決定のためにシラバスをチェックする必要性が低いことや、講義の最初に当該科目のシラバスを配布することが推奨されていること、また質問の内容が「よくチェックしたか」という文言になっていることも関連すると考えられる。また予習復習（課題以外）についても、履修科目が比較的多く、それぞれの講義で課題等が出されることも原因として考えられる。それゆえ、シラバスと予習復習については、学生の受動的姿勢と直接的な関連があるかは、別の角度からの検証を含めて検討されるべきであろう。

他方で**授業への質問の項目**については、年を経るごとに改善されてきてはいるものの、授業をただ受けるだけでなく、**自ら学ぶことが求められる大学において、気になる点ではある。**本学固有の問題ではないにしても、学生が授業の中で気になった点を教員に聞ける工夫（ex. 出席表を兼ねて質問を記入してもらう）や、学生の主体的な学びについての意識向上の工夫が今後求められる。

4. 付録

学生による「授業改善」のための調査（質問項目）

「授業改善」のための実施について（前期・後期）

Webによる「授業改善」のための調査実施のお願い

学生による授業改善のための調査 集計結果表（科目別）

学生による授業改善のための調査

*必須

授業に対する評価

1. 授業の内容はよく理解できた。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

2. 授業の内容に興味・関心が持てた。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

3. この授業の目標、目的は明確であった。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

4. この授業において、教員の熱意が感じられた。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

5. 話し方は明瞭でかつ適切な語彙であった。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

6. この授業の学習内容の量は適切であった。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

7. この授業は教材（教科書、資料配布、ビデオ資料など）が不足していた。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

8. 授業科目名と授業内容が一致していた。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

自分の授業取り組みについての評価

9. 授業中まじめに説明を聞き課題に取り組んだ。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

10. この授業で質問等を積極的にした。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

11. 授業とは関係のない行為（私語や携帯電話・スマホ等の使用など）をしなかった。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

12. この授業のシッパスをよくチェックした。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

13. この授業のために予習・復習をした。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

総合評価

14. 総合的に判断してこの授業に満足した。

	1	2	3	4	5	
全くあてはまらない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よくあてはまる

自由記述

この授業の良かった点、改善してほしい点、その他、調査について気づいたことを入力してください。


2018年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

2018 (H30) 年度前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力はパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiは利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答URL: <https://goo.gl/HznaxR> (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)

または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。
コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「_2018前期授業改善のための調査」からも可能です。



回答期間: 原則として授業内で回答時間が指示されます。この用紙は全科目で使用しますので無きないように保管してください
最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で7月31日(土)までに回答してください。集中講義は、講義終了後1週間以内

回答科目: 2018年度 前期に履修登録している全科目(ただし学外実習、卒業論文を除く)
※回答確認機能を利用し、未回答科目がわかりやすいようにお願いします。

回答確認メール: 入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。

項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。
② 未入力項目があると送信できません。
③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。
④ 学籍番号はアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。
なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。

《健康栄養学科(家政学科)》 ※児童学科は裏面

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	授業形態	開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	授業形態	
1N	3101	食生活と倫理	齋藤 雅俊		2N	3123	プレゼンテーション論	友田・奈良		
	3102	生活と文学	佐々木 隆			3134	科学のための英語	杉本 久美子		
	3104	食と歴史	石戸谷 繁			3135	時事英語A	保村 和良		
	3105	共通授業	小野 昇平			3304	地域健康支援実習(8月集中講義)	金田 直子		
	3111	生活の中の化学A	長南 幸安			3305	健康科学実習	前田 朝美		
	3113	生活の中の物理学	比内 馨			3310	栄養生理学	土谷 庸		
	3114	生活の中の統計学	嶋野 三太郎			3311	基礎免疫学	加地 睦		
	3115	生命科学	友田 志郎			3314	生化学実験	土谷 庸		
	3121	情報基礎	奈良 拓哉			3317	食品学	富田 雅弘		
	3131	英語	杉本 久美子			3324	調理学実習	今村 麻里子		
	3132	生活の英語A	保村 和良			3326	基礎栄養学実験	加藤 秀夫		
	3151	健康スポーツ実習	神 和人			3328	世代別栄養学(9月集中講義)	市川 知美		
	3302	社会福祉論	齋藤 史彦			3342	公衆栄養学	松本 範子		
	3309	栄養生化学(9月集中講義)	中村 重紀			3345	給食経営管理論	妹尾 良子		
	3320	調理学(8月集中講義)	石見 百江			3421	家族関係論	工藤 のぶ		
	3325	基礎栄養学	加藤 秀夫			3435	被服材料学	安川 あけみ		
	3333	健康教育論	前田 朝美			3451	住居学	村上 早紀子		
	3411	食の心理学	小林 琢哉			3463	育児学(1)	福士 章子		
	3413	食品機能学	富田 雅弘			3501	教職の理解	石戸谷 他		
	3423	家政学原論(1)	佐々木 隆			3502	教育原理	齋藤 雅俊		
3431	被服学	・西 美樹		3503	教育心理学	小林 琢哉				
3440	アパレルCAD実習(1)	工藤 寧子		3504	教育行政(9月集中講義)	千田 淳				
3601	華道	斎藤 久美子		3506	家庭科教育法I	林 孝子				
3602	茶道	神山 圭子		※健康・食生活論(9月集中講義)は後期の調査対象となります。						
3N	3313	解剖生理学実験	土谷 庸		4N	3201	卒業論文		実施しない	
	3319	食品科学	加藤 陽治			3349	臨地実習総合演習	西田、松本、妹尾、前田		実施しない
	3329	スポーツ・運動栄養学(8月集中講義)	中村 重紀			3350	給食経営管理臨地実習	妹尾 良子		実施しない
	3332	食行動論	前田 朝美			3351	公衆栄養学臨地実習	松本 範子		実施しない
	3337	臨床栄養管理学	西田、三上、住藤史、西香			3352	臨床栄養学臨地実習 I	西田 由香		実施しない
	3338	臨床栄養生化学	西田 由香			3353	臨床栄養学臨地実習 II	西田 由香		実施しない
	3340	臨床科学実験	西田 由香			3517	教育実習	教職課程委員会		実施しない
	3341	臨床福祉栄養学実習	三上 恵理			3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村		実施しない
	3343	地域健康栄養学	松本 範子							
	3347	給食経営管理実習	妹尾 良子							
	3415	学校栄養教育論	今村・前田			1203	情報と生活	嶋野 三太郎		
	3425	家庭管理学概論	工藤 寧子			1216	卒業論文			実施しない
	3433	被服平面構成実習	・西 美樹			1292	給食の運営実習II	栄養実習士指導委員会		実施しない
	3471	家庭電気・機械	比内 馨			4L	1315	事前事後指導案)	今村・前田	
	3508	家庭科教育法Ⅲ	荒城 英子							
3513	生徒指導(進路指導を含む。)	石戸谷 繁								
3514	生徒指導	石戸谷・妹尾								
3515	教育相談	高橋 美美子								

※ 網掛け部分は卒業必修科目

東北女子大学FD委員会(問合せ先 学務課)

《児童学科》

開講 学年	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 学年	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2102	国文学	船水 周		2C	2133	英語Ⅱ	杉本 久美子	
	2104	法学	小野 晃平			2136	独語Ⅱ	比内 馨	
	2105	経済学	兼平 拓道			2137	中国語Ⅰ(後期分)	町田 秀子	
	2106	歴史学	石戸谷 繁			2201	家政学原論	佐々木 隆	
	2108	共通授業	小野 晃平			2202	発達心理学	三浦 なぎさ	
	2112	化学	二谷 庸			2214	ICTの基礎 1)	友田 志郎	
	2113	物理学	比内 馨			2301	国語1)	船水 周	
	2116	数学	高橋 信道			2303	書道	二藤 昌樹	
	2121	論作文技術(1)	船水 周			2307	算数B	高橋 信道	
	2123	情報機器の操作(1)	奈良 拓哉			2309	理科B	友田 志郎	
	2131	英語Ⅰ	保村 和良			2315	音楽表現Ⅱ(1) 声楽	諏訪 才子	
	2135	独語Ⅰ	比内 馨			2317	音楽表現Ⅱ(1) 器楽 ※担当の教員一人のみ担当	一戸 智之	
	2137	中国語Ⅰ	町田 秀子					榎庭 由美	
	2141	体育	神・大島					吉松 恵美	
	2207	教育原理	齋藤 雅俊					古川 佳子	
	2210	家庭管理学概論	二藤 幸子			2319	造形表現Ⅰ(1) 美術	長尾 明義	
	2213	コンピュータ概論	友田 志郎			2321	造形表現Ⅱ(1) 工芸	岩井 康頼	
	2218	児童文学史(1)	藤田 靖夫			2323	児童体育理論	大島 義晴	
	2312	音楽理論とソルフェージュ	一戸 諒訪			2324	身体表現(1)	大島・佐藤 睦	
	2313	音楽表現Ⅰ(1)ピアノ ※担当の教員一人のみ担当	一戸 智之			2331	教職の理解	石戸谷・他	
榎庭 由美				2347	保育内容総論	安川 由貴子			
吉松 恵美				2356	保育研究A)	小関・河内			
古川 佳子				2360	子どもの保健Ⅰ(1)	松尾 泉			
2375	保育原理	安川 由貴子		2365	乳児保育(1)	松宮 ゆり			
2379	社会的養護	増田 貴人		2391	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会			
2401	華道	斎藤 久美子							
2402	茶道	神山 圭子							
3C	2138	中国語Ⅱ(後期分)	町田 秀子		4C	2111	自然科学概論	比内 馨	
	2204	保育の心理学2)	三浦 なぎさ			2209	卒業論文		実施しない
	2216	ICT活用法 1)	奈良 拓哉			2220	児童社会学(1)	本山 敬祐	
	2225	データ処理入門	小林 琢哉			2222	児童教育学演習	長尾 明義	
	2311	生活科総論	長尾 明義			2223	特別支援教育論	土岐 智	
	2333	教育行政	本山 敬祐			2335	国語科教育法	船水 周	
	2339	生活科教育法	長尾 明義			2336	社会科教育法	本間 信博	
	2341	図画工作科教育法	蝦名 敬子			2337	算数科教育法	伊藤 學	
	2342	家庭科教育法	・西・今村・二藤 幸			2338	理科教育法	花田 裕	
	2344	道徳教育の指導法	齋藤 雅俊			2340	音楽科教育法	一戸 智之	
	2349	健康の指導法	小関・河内			2343	体育科教育法	上野 秀人	
	2349	人間関係の指導法	吉田 裕美子			2345	特別活動の指導法	花田 裕	
	2352	表現の指導法Ⅰ(1)	諏訪 才子			2358	生徒指導	石戸谷 繁	
	2354	表現の指導法Ⅱ(1)	岩井 康頼			2359	教育相談	三浦・平井	
	2365	教育実習(幼)	教職課程委員会	実施しない		2361	教育実習(小)	教職課程委員会	実施しない
	2366	事前事後指導(幼)	教職課程委員会			2362	事前事後指導(小)	長尾・杉本	
	2382	子どもの保健Ⅱ	福士 章子			2363	学校教育体験実習Ⅰ(小)	教職課程委員会	実施しない
	2383	子どもの食と栄養	今村 麻里子			2373	児童家庭福祉1)	小野 晃平	
	2387	障害児保育	若林 一哉			2389	保育相談支援	安川 由貴子	
	2390	言語表現	小田 光子						
2394	保育実習指導Ⅱ	保育士課程委員会							


※ 網掛部分は卒業必修科目

【東北女子大学WIFI】
ID tojo-wifi
パスワード iwakisar0430

2018年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

2018 H30 年度後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiは利用できます。Wi-Fiの詳細は裏面

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL	https://goo.gl/aBWDsV <small>全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください</small>	
	または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。 コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「2018後期授業改善のための調査」からも可能です。	
回答期間	原則として授業内で回答時間が指示されます。この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください 最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で2月9日（土）までに回答してください。集中講義は、講義終了後1週間以内	
回答科目	2018年度 後期に履修登録している全科目（ただし学外実習、卒業論文を除く） <small>※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。</small>	
回答確認メール	入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。	
項目について	① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。 ② 未入力項目があると送信できません。 ③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。 ④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。 なお、調査に回答していない場合は、学務課より連絡することがあります。	

《健康栄養学科(家政学科)》 ※児童学科は裏面

履修クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	履修クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3103	日本国憲法	小野 昇平		2N	3136	時事英語B	保村 和良	
	3112	生活の中の化学B	長南 幸安			3137	生活の独語	比内 馨	
	3122	情報機器の操作	奈良 拓哉			3138	生活の中国語	町田 秀子	
	3133	生活の英語B	保村 和良			3306	解剖生理学	加地 睦	
	3139	生活の仏語	工藤 貴子			3307	病態別生理学	加地 睦	
	3151	健康スポーツ実習	神 和人			3315	栄養生化学実験	加藤 秀夫	
	3301	地域健康支援論	加藤 陽治			3316	栄養生理学実験	土谷 庸	
	3303	健康衛生学(2月集中講義)	餅 美知子			3322	食品学実験	富田 雅弘	
	3308	生化学	土谷 庸			3330	応用栄養学実習	松本 範子	
	3318	食品健康科学	前多 隼人			3331	栄養教育論	前田 朝美	
	3323	基礎調理学実習	今村 麻里子			3335	臨床栄養学	西田 由香	
	3327	応用栄養学	加藤 秀夫			3346	給食経営実践論	妹尾 良子	
	3401	トレーニング科学	大島 義晴			3414	健康・食生活論	加藤 秀夫・加藤 陽治	
	3412	おいしさの科学	今村 麻里子			3436	被服学実験	宮野 洋子	
	3421	家庭経営学(1)	工藤 寧子			3472	テーラ解析演習	崎野 三太郎	
	3432	被服立体構成実習	工藤 寧子			3505	教育課程論	森本 洋介	
	3461	保育学(1)	福士 翠子			3507	家庭科教育法Ⅱ	林 孝子	
	3462	家庭看護	大津 美香			3510	道徳教育の指導法	松田 奈津子	
3473	健康情報学	比内 馨		3511	特別活動の指導法	花田 裕			
3601	華道	深澤 久美子		3512	教育方法・技術	森本 洋介			
3602	茶道	神山 圭子							
3N	3138	生活の中国語	町田 秀子		3201	卒業論文		実施しない	
	3201	卒業論文		実施しない	3349	臨地実習総合演習	藤田、松本、妹尾、前田		
	3312	微生物学	富田 雅弘		3518	教職実践演習(中・高)	齋藤 雅俊 他		
	3321	食品科学実験	富田 雅弘		3520	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤 雅俊 他		
	3334	栄養教育論実習	前田 朝美						
	3336	実践介護食事論	西田 由香						
	3339	臨床栄養学実習	西田 由香						
	3344	公衆栄養学実習	松本 範子						
	3348	栄養管理総合演習	西田・松本・妹尾						
	3509	家庭科教育法Ⅳ	・西 美樹						
3516	事前事後指導(中・高)	・西・工藤 寧		4L	1216	卒業論文		実施しない	
3519	栄養教育実習(事前事後指導を含む)	前田・今村			1314	栄養教育実習	教職課程委員長	実施しない	

※ 網掛け部分は卒業必修科目

東北女子大学FD委員会(問合せ先 学務課)

《児童学科》

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	履修 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	履修 クラス	
1C	2101	倫理学	齋藤 雅俊	2C	2134	英語IV	杉本 久美子		
	2103	日本国憲法	小野 昇平		2136	独語II	比内 馨		
	2107	社会学	佐々木 隆		2203	保育の心理学(1)	三浦 なぎさ		
	2114	生物学	友田 志郎		2208	教育課程論	本山 敬祐		
	2117	統計学	崎野 三太郎		2215	ICTの基礎 2	友田 志郎		
	2122	論作文技術(2)	船水 周		2302	国語 2	船水 周		
	2124	情報機器の操作(2)	奈良 拓哉		2303	書道	工藤 昌樹		
	2132	英語II	杉本 久美子		2304	社会A	本山 敬祐		
	2135	独語I	比内 馨		2305	社会B	石戸谷 繁		
	2137	中国語I	町田 秀子		2316	音楽表現II 2(声楽)	諏訪 才子		
	2141	体育	神・大島		2318	音楽表現II 2(器楽) …担当の教員一人の担当	一戸 智之		
	2205	教育心理学	小林 琢哉				櫻庭 由美		
	2211	版図学概論	二藤 孝子				吉松 恵美		
	2212	食物学概論	土谷 庸				吉川 佳子		
	2213	コンピュータ概論	友田 志郎				2320	造形表現I 2(美術)	長尾 明義
	2219	児童文学史 2	藤田 晴夫				2322	造形表現II 2(工芸)	岩井 康頼
	2306	算数A	高橋 信進				2325	身体表現 2	佐藤 瞳子
	2308	理科A	比内 馨				2346	教育方法・技術	花田 裕
	2312	音楽理論とパフォーマンス	一戸 智之				2351	言葉の指導法	船水 吉田
	2314	音楽表現I 2(ピアノ) …担当の教員一人の担当	櫻庭 由美				2357	保育研究B	小関・河内
吉松 恵美			2376	保育者論	安川 由貴子				
吉川 佳子			2377	保育課程論	安川 由貴子				
2388			社会的養護内容	増田 貴人	2381	子どもの保健I 2	松尾 泉		
2401	筆道	斎藤 久美子	2386	乳児保育 2	松宮 ゆり				
2402	茶道	神山 圭子	2392	保育実習I 1	保育士課程委員会	実施しない			
3C	2206	臨床心理学	三浦 なぎさ	2393	保育実習I 2	保育士課程委員会	実施しない		
	2217	ICT活用法 2	奈良 拓哉	2209	卒業論文		実施しない		
	2224	児童心理学実験	小林 琢哉	2221	児童社会学 2	本山 敬祐			
	2326	家庭科実習	・西・今村	2222	児童教育学演習	長尾 明義			
	2332	教育史	齋藤 雅俊	2223	特別支援教育論	土岐・松本			
	2335	国語科教育法	船水 周	2226	人権教育論	佐々木 隆			
	2336	社会科教育法	石戸谷 繁	2360	教職実践演習(幼・小)	齋藤 雅俊 他			
	2337	算数科教育法	伊藤 學	2364	学校教育体験実習II(小)	教職課程委員会	実施しない		
	2338	理科教育法	花田 裕	2372	相談援助	西 敏郎			
	3C	2339	生活科教育法	長尾 明義	2374	児童家庭福祉 2	小野 昇平		
		2340	音楽科教育法	一戸 智之	2384	家庭支援論	二藤 のぶ		
		2341	図画工作科教育法	蝦名 敦子	2396	保育実践演習	安川 由貴子		
		2342	家庭科教育法	・西・今村・工藤 昌					
		2343	体育科教育法	上野 秀人					
		2350	環境の指導法	佐藤 崇之					
		2353	表現の指導法I 2	諏訪 才子					
2355		表現の指導法II 2	岩井 康頼						
2371		社会福祉	小野 昇平						
2395		保育実習II	保育士課程委員会			実施しない			

※ 網掛け部分は卒業必修科目

【東北女子大学WIFI】

ID: to_o-wifi

パスワード: apple-0920

各 位

FD 委員会

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を設けて回答させてください。(講義内に回答させると、回答率が非常に高くなります。)

学生には事前に別紙「2018 年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について」を配布していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務課まで問い合わせるようお願いください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思えます。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「_2018 後期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

(学内の無線 LAN が使用できませんので、一般講義室へ移動して回答させていただくか、回答日を事前にお知らせいただければ貸出用の無線 LAN を設置しますので一般講義室と同様に回答させてください。)

2. (授業の科目番号、科目名を読み上げて、) この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

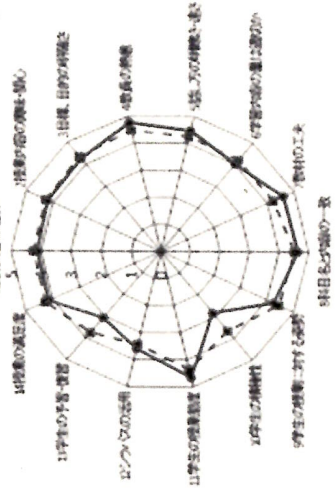
3. 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

20**年度 ○期 学生による授業改善のための調査 集計結果表 (科目別)

東北女子大学

科目番号	5555	○年**学科	33名
科目名	*****	講義	30名
教員名	○○○○	***	90.9%

○院間別平均値比較レーダーチャート



○自由記述

.....

○項目別回答分布(人数と平均値)

区分	項目番号	説明文	回答分布(人)					平均	学科平均
			5	4	3	2	1		
授業について の評価	1	授業の内容はよく理解できた。	11	12	7	0	0	4.1	4.3
	2	授業の内容に興味・関心が持てた	14	9	6	1	0	4.2	4.3
	3	この授業の目標、目的は明確であった	12	14	4	0	0	4.3	4.4
	4	この授業において、教員の熱意が感じられた	23	7	0	0	0	4.8	4.5
	5	話し方は明確でかつ適切な量であった	17	10	3	0	0	4.5	4.2
	6	この授業の学習内容の量は適切であった	10	13	6	0	1	4.0	4.2
	7	この授業は教材(教科書、資料配布、ビデオ資料など)が工夫されていた	20	8	2	0	0	4.6	4.2
	8	授業科目名と授業内容が一致していた	21	7	2	0	0	4.6	4.5
学生自身 の授業 評価 取組み	9	授業中まじめに説明を聞き課題に取り組んだ	13	12	5	0	0	4.3	4.5
	10	この授業で質問等を積極的にした	2	8	8	7	5	2.8	3.7
	11	授業とは関係のない行為(私話や携帯電話の使用など)をしなかった	23	4	3	0	0	4.7	4.4
	12	この授業のシラバスをよくチェックした	5	12	10	2	1	3.6	3.4
	13	この授業のために予習・復習をした	3	8	10	6	3	3.1	3.7
評価 値合	14	総合的に判断してこの授業に満足した	14	9	4	3	0	4.1	4.3